

6.4 人工地盤

近年、土地を立体的に効率よく活用するために、人工地盤が開発されている。写真-6.3は、北海道奥尻町青苗地区にある人工地盤施設である。この施設の用途は、①一時避難場所、②漁港施設用地の確保、③漁港就労環境の改善、④散策・眺望など多岐にわたる。青苗人工地盤では、PC構造は屋根版に使用されており、プレキャスト部材を門型クレーンで連続的に架設することにより、効率化を図った。

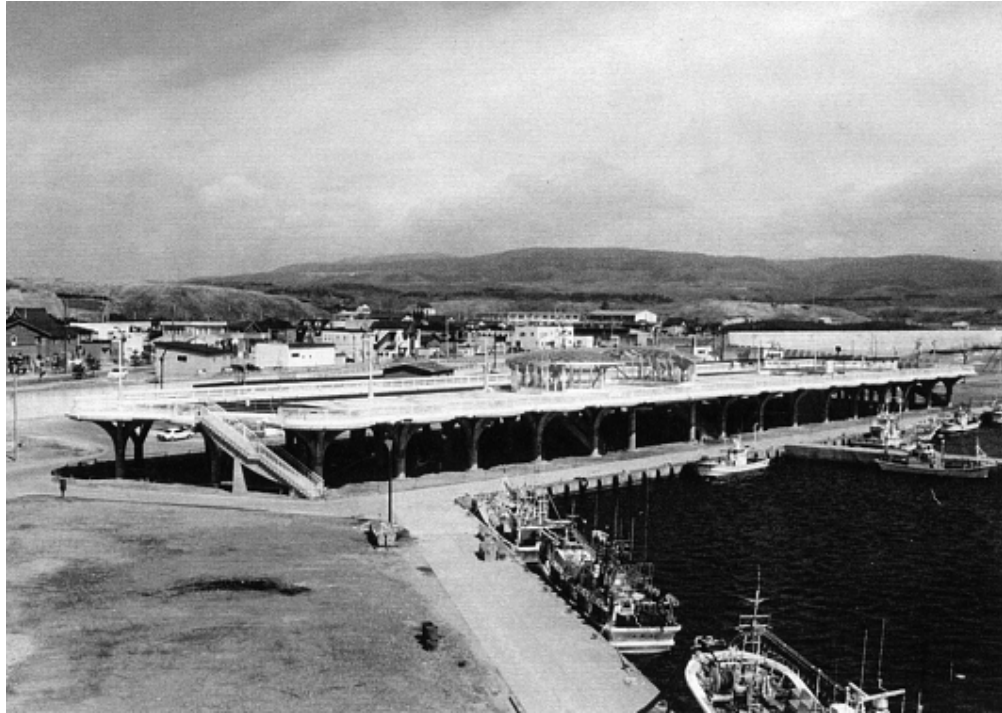


写真-6.3 青苗人工地盤

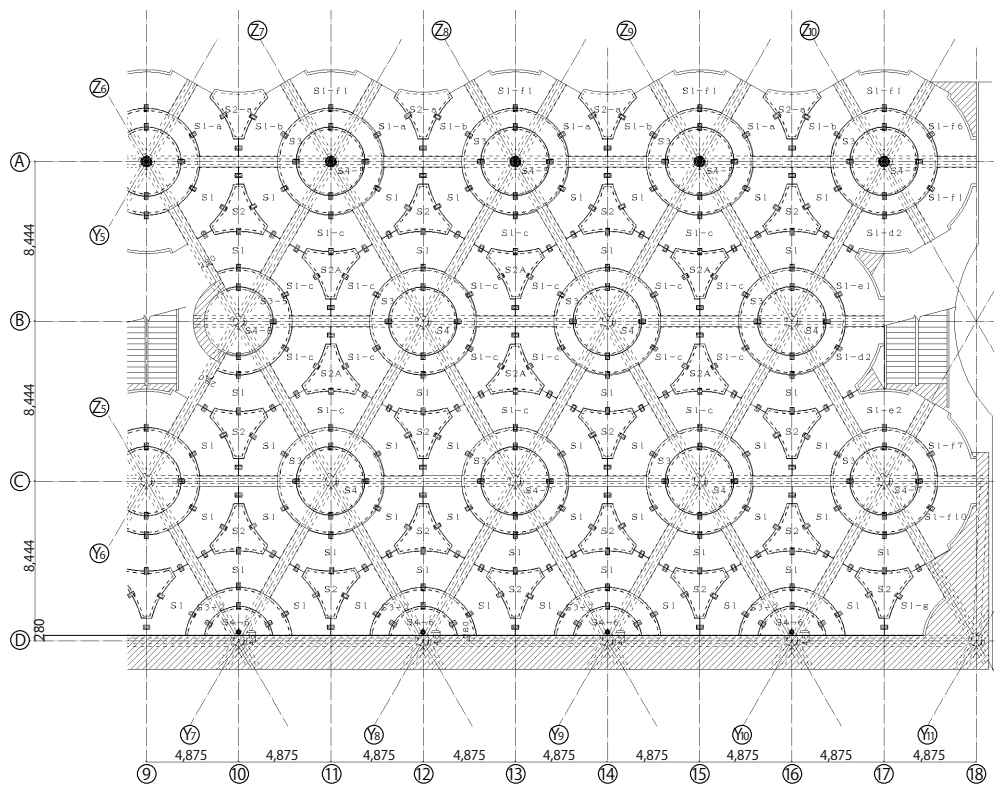


図-6.4 PC版割付図